

「FPDの人間工学シンポジウム2009」 を開催

■主催：社団法人電子情報技術産業協会

■会場：成蹊大学

■参加者数：約140名

概要

当協会では、2009年3月6日（金）、成蹊大学にて「フラットパネルディスプレイ（FPD）の人間工学シンポジウム2009」を開催しました。

本シンポジウムは、2001年から毎年開催し今年で9回目となりました。今回は、動画表示、カラー表示、動画像と3D表示の安全性、電子ペーパーからなる4つのセッションと2つの特別講演を設け、例年以上に広範囲で、タイムリー、そして有意義なテーマを集めました。

特に3Dディスプレイについては、国際標準化の動向や測定方法等の解説が行われ好評を博しておりました。また、超高解像度ディスプレイや電子ペーパーの動向なども取り上げ、私たちの日常生活の中に定着するための技術も紹介され、活発な議論を展開しておりました。

また、車載ディスプレイや薄型TVの視聴、輝度ムラといった場面で活用されているFPDと人との関わりの中で、より快適に、より効率よく利用されるために、人にやさしく、安全性を確保し、使用者側に立った人間工学の観点からの調査や検討結果について講演致しました。

お陰様を持ちまして、本シンポジウムはここ数年大変盛況で前年とほぼ同じ140名の方々の参加を得て、ユーザー側の視点から捉えたFPDの人間工学の活動に大きな関心、期待が寄せられていることをあらためて認識致しました。

尚、「フラットパネルディスプレイの人間工学シンポジウム2009」の講義時に活用致しました講演集につきましては、JEITAサービスセンターにて頒布しております（会員価格／非会員価格：2,500円／3,000円）。

